

交通事業

平成20年度下半期の事業概要

事業の概要

今期の交通事業の運営は、軽油費の高騰などの影響もあって、一段と厳しい状況となりました。このような中、今後の経営見通しにおける収支不足を補い、経営基盤の強化を図ることを目的として策定した「中期経営計画」(平成20年度～24年度)について、その後の経営環境の変化に適切に対応するため、平成21年3月に見直しを実施するなど、経営見通しについて定期的な判断を行いながら、経営の効率化と経営基盤の強化に努めてまいりました。計画の初年度となる平成20年度においては、増収・増客による収入確保、効率的なダイヤ編成などの経営健全化に取り組んだほか、今後の新たな経営健全化策として県央地区運行委託のための子会社の設立や貸切部門における福岡営業所の設置に取り組みました。

今期の事業実績は前年同期と比較して走行キロにおいて2.1%の減、輸送人員においては0.8%の増となりました。

その結果、20年度においては、総収入・総費用とも消費税及び地方消費税抜きで、総収入54億619万円に対し、総費用54億5,566万円となり、4,947万円の純損失を生じる見込みです。

業務状況

(ア) 車両

今期末の在籍車両は、396両です。

(イ) 輸送

a 免許キロ

今期末の総免許キロは1,838.28kmで、今期新たに免許を受けた主な路線は、次のとおりです。

免許を受けた路線	坂口～黒木線	11.2km
----------	--------	--------

b 走行キロ

今期の総走行キロは950万9,101km(乗合802万1,848km、貸切148万7,253km)で、前年度同期と比較して2.1%の減となり実働1日1車当たり総走行キロは163kmとなります。

c 輸送人員

今期の輸送人員は819万6,899人(乗合790万1,304人、貸切29万5,595人)で、前年度同期と比較して0.8%の増で実働1日1車当たりの人員は141人となります。

経理の状況

経理の状況は、およそ次の表のとおりになる見込みです。なお、予算と対比して、その執行状況を明らかにするため、本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。また、本表における収益的収入から支出を差し引いた収支見込額と純利益見込額との差については、資本的収支における消費税及び地方消費税の精算分が収益的収支に含まれることなどによるものです。

平成20年度予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
事業収益	5,581,442	5,635,398
営業収益	4,769,383	4,837,083
営業外収益	805,156	793,586
特別利益	6,903	4,729

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(支出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
事業費用	5,544,806	5,670,516
営業費用	5,172,736	5,292,396
営業外費用	372,070	377,295
特別損失	-	825

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(2) 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
資本的収入	490,320	378,750
企業債	366,000	270,900
他会計借入金	119,000	57,000
建設補助金	2,835	47,432
固定資産売却代金	2,485	3,270
投資返還金	-	148

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。

(支出)

(単位：千円)

区 分	予 算 額	執 行 見 込 額
資本的支出	1,474,089	1,157,766
建設改良費	643,302	276,354
企業債償還金	491,795	491,795
他会計借入金償還金	218,600	168,600
退職給与金	119,265	129,938
投資	1,127	91,079

本表の金額は消費税及び地方消費税込みとなっています。なお、退職給与金については、毎年度の収益的収支への影響の平準化等を図るため、各年度において見込まれる平均的な退職者数については収益的支出で支出し、これを超える退職者がある場合は資本的支出で支出し繰延処理を行うこととしています。